

2011年3月7日

報道関係各位

グラクソ・スミスクライン株式会社

子宮頸がん予防ワクチン供給問題に関するお詫び

この度は、弊社子宮頸がん予防ワクチン「サーバリックス」の供給が不足し、接種ご希望の皆様、医療関係者様、厚生労働省・地方自治体及び流通関係者の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。

加えて、一部地域に対し、接種事業を行っている国及び地方公共団体との協議を行っていない段階で、弊社の判断により接種開始時期の遅延依頼を行ったこと等により、関係者の皆様には大変な混乱を来しましたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。ごさいます。

サーバリックスは、2009年12月の発売以来、本年2月末までに日本において、医療機関に定期的に出荷して参りました。昨年11月に公的助成が開始され、弊社は、これに対応すべく供給計画を立ててまいりましたが、かかる供給不足の事態を招く結果となりましたことにつきまして、お詫び申し上げます。

この事態を改善すべく、昨年より、生産能力を増強しております。可能な限り早急に現在の供給状況を改善すべく努力致します。また、公費助成の対象者となられる方々への年間供給量は必ず確保してまいります。

当ワクチンの接種をご希望される皆様及び関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけすることを、重ねてお詫びするとともに、事情をご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

<報道関係者からのお問い合わせ先>

グラクソ・スミスクライン株式会社

担当:原 直史、小松 義明

TEL:03-5786-5030

<http://glaxosmithkline.co.jp>

事務連絡
平成23年3月7日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省医薬食品局血液対策課

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の円滑な実施について

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の実施については、平素より格段の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般、子宮頸がん予防ワクチン製造販売業者からの当該ワクチンの供給量が逼迫しているとの連絡を受けたところです。

子宮頸がん予防ワクチンの供給については、市場流通に基づいており、製造販売業者によれば、当初は十分な供給量が確保されているとのことでしたが、急速な需要の増大に対応できず、供給不足となり、出荷の制限等を実施しているとのこと。

このため、厚生労働省としては、早期に供給不足を解消するため、引き続き、製造販売企業に対し、安定供給の確保に努めるよう要請していくとともに、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の円滑な実施を確保するため、「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の実施について」（平成22年11月26日健発1126第10号厚生労働省健康局長通知及び同日付け薬食発1126第3号医薬食品局長通知）を改正することも含め、以下のような方針で対応する予定ですので、管内市区町村等への周知方お願いいたします。

記

- 1 今年度に事業を開始し高校1年生を事業の対象としている市町村においては、平成23年3月末までに1回目の接種をできなかった高校1年生が、平成23年4月以降に1回目の接種をした場合であっても、当分の間、事業の対象とできることとする。
- 2 ワクチンの供給状況を踏まえ、当分の間、初回の接種者への接種を差し控え、既に接種を開始した者への2回目・3回目の接種を優先するよう、市区町村及び関係機関にお願いする。

以上